

令和6年度 事業報告書



学校法人 香川学園

—目 次—

I. 法人の概要

1. はじめに	1
2. 基本情報	1
3. 建学の精神及び設置する学校の教育目的	1
4. 沿革	2
5. 設置する学校・学部・学科等および所在地	4
6. 学生・生徒・園児数の状況	5
7. 収容定員充足率	5
8. 役員の概要	6
9. 評議員の概要	7
10. 教職員の概要	8

II. 事業の概要

1. 学園の取り組み	9
2. 教育・研究活動	9
(1) 大学・短期大学部	9
(2) 中学校・高等学校	10
(3) 幼稚園	10
(4) 奨学事業	11
(5) 地域連携	11
(6) 就職・進学状況・国家試験合格実績	13
(7) 入試状況	16
(8) 国際交流	16
(9) 施設設備の整備	17
3. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況	17
4. 校地・校舎等の状況	26

III. 財務の概要

1. 決算の概要	27
2. その他	38
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	42
4. 財産目録	43

I. 法人の概要

1. はじめに

香川学園は、明治36年に香川昌子が厚狭郡藤山村（現在の宇部市藤山）に開塾した香川裁縫塾に始まります。翌年には、県知事の許可を得て香川裁縫女学校となり、以後、激動の20世紀の変遷の中で幾多の困難を克服し、香川高等女学校をへて昭和35年、県下で最初の短期大学を設立しました。この宇部短期大学（現 宇部フロンティア大学短期大学部）を母体とし、地元の宇部市及び山口県の財政的支援を受け、平成14年に宇部フロンティア大学が開学し、平成16年に大学院を設置しました。また、収益事業部門として平成2年に環境技術センター（現 宇部環境技術センター）を設立しました。

現在、学校法人香川学園は、幼稚園、中学校、高等学校、短期大学部、大学、大学院および宇部環境技術センターからなる総合学園となり、教育・研究の一大拠点として、地域への人材供給を含む地域貢献に取り組んでいます。

2. 基本情報

法人名称：学校法人 香川学園

主たる事務所

住 所：〒755-0805 山口県宇部市文京台二丁目1番1号

電 話：(0836) 38-0605

F A X：(0836) 38-0526

ホームページアドレス：<https://www.kagawa.ac>

3. 建学の精神及び設置する学校の教育目的

①建学の精神

学園創始者である香川昌子は、瀬戸内海沿岸の鉱工業地としてスタートした宇部市で、教育を求める若い年代の女子に、手に職を付ける裁縫の技を磨く教育と、女性として、また妻として生きていく上での教養の大切さを強調し、教育実践に邁進しました。香川昌子の教育姿勢や教育精神は、戦後期の香川学園を構成する香川高等学校や宇部短期大学にも時代を超え連綿と受け継がれてきました。

宇部フロンティア大学の開学にあたり、生活技術の修得と教養の大切さを重視した、当時としては時代を先取りした学園創始者の教育精神を「人間性の涵養と実学重視」という言葉に纏め、これを学園の建学の精神に据えることになりました。この精神には、人間の過去、現在、未来をみつめて人間性の根源を探り、自己啓発に努めること、学術を極めるに当たっては、今を生きる人間や現実社会に役に立つ実学を大切にすること、つまり高度な実践的能力の育成を重視するという思想が表明されています。

また、建学の精神を現代風にアレンジし、教養教育と実学教育を推進する方針として、「礼節、自律、共生」というキーコンセプトを建学のモットーと定めています。この3つのモットーが本学園の基本理念です。この基本理念が求める人材像を要約すると「人間の多様な生き方を尊重し

つつも、自らの考えを持ち、自律的に行動できる人」となります。つまり、ひと言でいうと、時代が求める専門的知識と技術、態度を身につけ、「柔軟な考え方ができる人」です。

②設置する学校の教育目的

大学	人間性の涵養と実学を重視する学園創始の理念に基づき、教育基本法及び学校教育法の趣旨による大学教育を施し、人類の持続可能な社会の発展と福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。
短期大学部	「人間性の涵養と実学の重視」という建学の精神に基づき、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、人格の完成をめざし、一般教養を高めるとともに、専門の学術に関する高度の知識技能を授け、知的、道徳的及び応用的能力のある有為の人材の育成を目的とし、もって文化の発展に寄与し、世界の平和と人類の福祉に貢献することを使命とする。
高等学校・中学校	日本国憲法の精神に則り、教育基本法、学校教育法、私立学校法に基づいて生徒個々の人格の完成を計り、平和を愛する民主的な文化国家、社会並びに家庭の有為なる形成者として必要な資質を養うため、高等学校にあっては高等普通教育と実際の専門職業に関する知識技能に重きを置く職業教育を施し、中学校にあっては中等普通教育を施し、人類の福祉と文化の創造発展に寄与することのできる心身共に健全な国民を育成することを目的とする。
幼稚園	学校教育法及び幼稚園教育要領に基づき、幼児を保育し、適切な環境を与え、心身の調和のとれた発達の基礎を培うことを目的とする。

4. 沿革

明治	36年	4月	香川裁縫塾創設
	37年	7月	香川裁縫女学校認可
大正	6年	2月	香川実科女学校と改称
昭和	15年	2月	山口県香川実科高等女学校認可
	11年	3月	山口県香川高等女学校認可
	14月	4月	財団法人山口県香川高等女学校認可
	22年	4月	香川学園中学校設置〔昭和37年4月宇部短期大学附属中学校に改称〕
	23年	4月	新学制の施行により財団法人山口県香川高等女学校自然解消し、財団法人香川学園高等学校設置〔昭和37年4月香川高等学校に改称〕
	25年	4月	香川学園藤山幼稚園設置〔昭和37年4月宇部短期大学附属藤山幼稚園に改称〕
	26年	3月	学校法人香川学園認可
	30年	4月	香川学園高等学校商業科、被服科、保育科設置
	35年	4月	香川学園短期大学家政科設置〔同年10月宇部短期大学に改称〕
	37年	4月	宇部短期大学に栄養士養成課程設置
	40年	4月	宇部短期大学工業計数科〔昭和55年4月情報計数学科に改称〕、保育科〔昭和44年4月幼児教育学科に改称〕設置
	42年	4月	宇部短期大学文科（国語専攻・英語専攻）設置〔昭和44年4月文学科（国語国文学専攻・英語国文学専攻）に改称〕 宇部短期大学家政科を家政専攻・食物栄養専攻に専攻分離〔昭和44

			年4月 家政学科（家政学専攻・食物栄養学専攻に改称）
昭和	45年	4月	香川高等学校経理事務科・服飾デザイン科設置
	47年	4月	香川高等学校食物科を食物調理科に改称
	48年	4月	宇部短期大学に環境衛生学科設置
	50年	4月	宇部短期大学幼児教育学科を保育学科に名称変更
	63年	4月	宇部短期大学家政学科に介護福祉士養成課程設置
平成	元年	4月	宇部短期大学家政学科家政学専攻を家政学専攻と生活福祉学専攻に分離
	2年	4月	学校法人香川学園環境技術センター設立〔平成14年4月 宇部環境技術センターに改称〕
	10年	4月	宇部短期大学文学科を改組して言語文化学科を設置
		4月	宇部短期大学情報計数学科を情報システム学科に名称変更
	12年	4月	宇部短期大学家政学科家政学専攻及び生活福祉学専攻を改組して健康福祉学科健康福祉学専攻及び生活福祉学専攻を設置、家政学科食物栄養学専攻を食物栄養学科に名称変更
			香川高等学校家政科を生活デザイン科に名称変更
	14年	4月	宇部フロンティア大学人間社会学部人間社会学科設置
	15年	3月	宇部短期大学言語文化学科及び環境衛生学科廃止
	16年	4月	宇部フロンティア大学大学院人間科学研究科設置
			宇部短期大学を宇部フロンティア大学短期大学部に名称変更
			香川高等学校を宇部フロンティア大学附属香川高等学校に名称変更
		4月	宇部短期大学附属中学校を宇部フロンティア大学附属中学校に名称変更
		4月	宇部短期大学附属藤山幼稚園を宇部フロンティア大学附属幼稚園に名称変更
		4月	宇部フロンティア大学短期大学部健康福祉学科生活福祉学専攻を生活福祉学科に名称変更
	17年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部健康福祉学科健康福祉学専攻を廃止
		3月	宇部フロンティア大学短期大学部附属人間生活科学研究所を廃止
		4月	宇部フロンティア大学人間社会学部に児童発達学科を設置
	18年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部健康福祉学科生活福祉学専攻を廃止
	19年	4月	宇部フロンティア大学人間社会学部人間社会学科を人間社会学部福祉心理学科に名称変更
		4月	宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科を設置
	20年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部生活福祉学科を廃止
		4月	宇部フロンティア大学附属幼稚園に満3歳児学級を設置
	21年	3月	宇部フロンティア大学短期大学部情報システム学科を廃止
	23年	2月	宇部フロンティア大学附属香川高等学校情報処理科を廃止
	25年	3月	宇部フロンティア大学人間社会学部児童発達学科を廃止
		4月	宇部フロンティア大学附属文京クリニック設置
	31年	3月	宇部フロンティア大学附属文京クリニック閉院
		4月	宇部フロンティア大学及び宇部フロンティア大学短期大学部をキャンパス統合
令和	2年	4月	宇部フロンティア大学心理学部心理学科を設置
	4年	4月	宇部フロンティア大学人間健康学部を看護学部に変更
	5年	3月	宇部フロンティア大学人間社会学部を廃止

5. 設置する学校・学部・学科等および所在地

<大学院>

宇部フロンティア大学 大学院人間科学研究科 臨床心理学専攻
所在地：山口県宇部市文京台二丁目1番1号

<大学>

宇部フロンティア大学
看護学部 看護学科
心理学部 心理学科
所在地：山口県宇部市文京台二丁目1番1号

<短期大学>

宇部フロンティア大学短期大学部
保育学科・食物栄養学科
所在地：山口県宇部市文京台二丁目1番1号

<高等学校>

宇部フロンティア大学附属香川高等学校
普通科・生活デザイン科・食物調理科・保育科
所在地：山口県宇部市文京町1番25号

<中学校>

宇部フロンティア大学附属中学校
所在地：山口県宇部市文京町1番25号

<幼稚園>

宇部フロンティア大学附属幼稚園
所在地：山口県宇部市文京町7番5号

<収益事業>

宇部環境技術センター
所在地：山口県宇部市文京町4番23号

6. 学生・生徒・園児数の状況

(令和6年5月1日現在)

	学部・学科等	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
大学院	人間科学研究科	15	14	30	19
大 学	看護学部 看護学科	80	41	330	218
	心理学部 心理学科	70	33	290	159
	計	150	74	620	377
短期大学部	保育学科	50	43	100	73
	食物栄養学科	50	46	100	94
	計	100	77	200	167
高等学校	普通科	200	100	600	246
	生活デザイン科	55	26	165	92
	食物調理科	65	62	195	157
	保育科	40	26	120	63
	計	360	214	1,080	558
中学校		90	45	270	150
幼稚園			40	280	175
合 計				2,480	1,446

7. 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

	学部・学科等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大学院	人間科学研究科	0.66	0.40	0.47	0.43	0.63
大 学	人間社会学部 福祉心理学科	0.45	0.39	0.41	—	—
	看護学部 看護学科	0.86	0.82	0.84	0.72	0.66
	心理学部 心理学科	0.77	0.75	0.67	0.60	0.55
	計	0.70	0.70	0.72	0.66	0.61
短期大学部	保育学科	0.56	0.61	0.75	0.66	0.73
	食物栄養学科	0.74	0.58	0.83	0.97	0.94
	計	0.63	0.60	0.79	0.82	0.84
高等学校	普通科	0.44	0.46	0.40	0.43	0.41
	生活デザイン科	0.53	0.62	0.56	0.59	0.56
	食物調理科	0.61	0.75	0.84	0.86	0.81
	保育科	0.61	0.76	0.68	0.61	0.61
	計	0.50	0.57	0.53	0.55	0.53
中学校		0.44	0.46	0.50	0.57	0.56
幼稚園		0.82	0.76	0.73	0.63	0.63

8. 役員の概要

①理事・監事

理事 定数 6名以上9名以内 現員 6名

(令和7年3月31日現在)

氏名	現職	就任年月日	常勤・非常勤の別
高田 晃	宇部フロンティア大学学長・宇部フロンティア大学短期大学部学長・理事長	令和6年4月1日 理事長就任年月日 令和6年7月7日	常勤
佐々木孝志	宇部フロンティア大学附属香川高等学校校長・附属中学校校長	令和6年4月1日	常勤
浅田 哲巳	学校法人香川学園事務局長・常務理事	平成29年10月1日 常務理事就任年月日 令和6年7月7日	常勤
中邑 至道	宇部フロンティア大学附属幼稚園園長	令和2年7月7日	常勤
山根 敬二	山口県産業教育振興会事務局長	令和6年7月7日	非常勤
長谷川みゆき	山口労働局労災精神障害専門調査員	令和6年7月7日	非常勤

監事 定数 2名又は3名 現員 2名

(令和7年3月31日現在)

氏名	現職	就任年月日	常勤・非常勤の別
藤田 敏彦	富士商株式会社 代表取締役会長兼社長	平成12年7月7日	非常勤
小平 敏彦	税理士法人いそべ代表社員	令和6年7月7日	非常勤

②責任限定契約、役員賠償責任保険契約の状況

責任限定契約

対象役員の氏名	非常勤理事 山根 敬二 長谷川みゆき 監事 藤田 敏彦 小平 敏彦
契約内容の概要	善意でかつ重大な過失がないときは、金 60 万円または私立学校法第 44 条の 2 第 4 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 115 条第 1 項に定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする。
契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置	契約に「その職務を行うにあたり善意でかつ重大な過失がないとき」と明記している。

役員賠償責任保険

団体契約者	日本私立大学協会
被保険者	個人被保険者 理事・監事、評議員、執行役員、管理職従業員（理事会決議により選任された職員）、法人外派遣役員 記名法人 学校法人 香川学園
補償内容	個人被保険者 法律上の損害賠償金、訴訟費用等 記名法人 法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用
保険期間中総支払限度額	3億円

9. 評議員の概要

評議員 定数 13名以上 19名以下 現員 13名 (令和7年3月31日現在)

氏名	主な現職等	就任年月日
高田 晃	宇部フロンティア大学学長・宇部フロンティア大学短期大学部学長	令和6年4月1日
佐々木孝志	宇部フロンティア大学附属香川高等学校校長・附属中学校校長	令和6年4月1日
松本 治彦	宇部環境技術センター所長	令和2年7月7日
中邑 至道	宇部フロンティア大学附属幼稚園園長	平成31年4月1日
浅田 哲巳	学校法人香川学園事務局長	平成29年10月1日
清水 大輔	学校法人香川学園事務局参事	令和6年4月1日
佐藤 美幸	宇部フロンティア大学副学長・教授	令和2年7月7日
藤本 秀夫	宇部フロンティア大学附属香川高等学校 教頭	令和6年4月1日
鈴木 武史	宇部フロンティア大学・宇部フロンティア大学短期大学部事務部長	令和4年4月1日
有富 早苗	宇部フロンティア大学短期大学部同窓会長	令和6年7月7日
石川 悟	テクノUMG社員・香川学園父母の会会長	令和6年6月1日
山根 敬二	山口県産業教育振興会事務局長	令和6年7月7日
長谷川みゆき	山口労働局労災精神障害専門調査員	令和6年7月7日

10. 教職員の概要

教職員数（令和6年5月1日）

（単位：人）

所属	種別	本務	兼務
学園事務局	事務職員	2	0
宇部フロンティア大学	教員	34	22
	事務職員	18	16
宇部フロンティア大学短期大学部	教員	16	26
	事務職員	6	6
宇部フロンティア大学附属香川高等学校	教員	42	29
	事務職員	5	4
宇部フロンティア大学附属中学校	教員	12	7
	事務職員	1	1
宇部フロンティア大学附属幼稚園	教員	14	13
	事務職員	2	4
宇部環境技術センター	職員	18	11
合計		170	139

Ⅱ. 事業の概要

1. 学園の取り組み

学校法人香川学園は、地域に根差した教育機関として更なる発展を目指すとともに、建学の精神「人間性の涵養と実学の重視」の下、大学、大学院、短期大学部、高等学校、中学校及び幼稚園の教育活動の充実と人材育成を図り、これを支える経営の強化に努めています。

2. 教育・研究活動

(1) 大学・短期大学部

① 教育内容の充実

幅広い教養と豊かな人間力を涵養するための基礎教養教育と、心理、看護、保育、食物栄養の各分野の高度な専門知識・技術・態度を育成する専門教育を実施しました。また、各分野で身に付けた知識・技術・態度を実践力へつなげるための現場実習を学外実習機関との連携のもと実施することができました。新入生については本学での学習が円滑にスタートできるように入学予定者全員を対象に入学前教育を実施しました。また、入学後に各学科で初年次教育を実施しました。

基礎教養教育、専門教育の他に自らの個性を自覚し、自立した職業人として成長する過程を支援するためのキャリア教育を実施しました。

② 資格等取得の支援の充実

国家試験（看護師国家試験、保健師国家試験、公認心理師試験）対策については、それぞれ年間計画を立てて受験対策講座を実施しました。その他、看護分野では養護教諭の免許取得を、食物栄養分野では栄養士免許に加えてフードスペシャリスト等の資格取得を、保育分野では保育士資格と幼稚園教諭二種免許に加えて認定ベビーシッター資格等の資格取得を支援しました。

③ 志願者獲得のための広報活動の充実

大学・短期大学部の公式インスタグラムによる情報発信、高校訪問、業者ガイダンス参加、オープンキャンパス開催、夢ナビ・進学フェア等への参加など予定していた広報活動を実施しました。高校生との接触の機会を増やす為に、高校訪問ができていない九州・中国・四国エリアにオープンキャンパスや特色のWeb DMを行い志望校への認知度を上げる施策と、オープンキャンパスの当日参加を可能とする等の試みを行った結果、参加者数増加に繋がりました。

④ 教職員の能力の向上と検証

教員の教育力・研究力の向上と職員の専門性・資質の向上を図るためにFD・SDを企画・実施しました。優れた教育活動を共有することを目的に「教員の教育活動の評価に関する規程」に基づいてティーチングポートフォリオを活用した教育改善に取り組み、優れた教育活動を行っている教員を顕彰しました。教員の研究成果については、「宇部フロンティア大学紀要」を編集、発行し、紀要に掲載した学術論文を「山口県大学共同リポジトリ維新」に登録しました。教育活動の評価及び学修成果の把握については、「3つのポリシーに関するアセスメントポリシー」に基づいて「3つのポリシーに関するアセスメント報告書」を作成・公表しました。

(2) 中学校・高等学校

- ① 令和6年度(2024年度)は、中期計画最終年度として「ニュー・フロンティア・スタイル」の5本柱(ICT、Global、Science、Frontier Learning、Active Career)に沿って、確かな学力や豊かな人間性、グローバル社会で生き抜く力を身につけることを主眼に、学習、学校行事、地域との連携事業など様々な活動に取り組みました。
- ② 高校普通科の令和7年度大学入試では、医歯薬系6名(医学部医学科1名、歯学部4名、薬学部1名)をはじめ国公立大学に21名の合格者を出すことができたほか、中央大学や同志社大学などの有名私立大学への合格者も出すことができました。国の大学入試改革も紆余曲折を経ながら進み、大学受験を取り巻く情勢も常に変化しています。引き続き進路指導や個別指導等の充実を図ることにより、多くの生徒が希望の大学等へ進学できるよう努めました。また、学校における行事や諸活動の意欲的に取り組むことを通して、社会で必要とされる資質の育成を図り、生徒自身の生き抜く力の向上に努めました。
- ③ 高校専門科は、これまで同様、通常の授業に特別講師を招聘し、一流の技と心を学ぶことを通じて専門的実践能力を身につけさせ、地域を支える優秀な職業人材の育成に努めました。宇部まつりのキャンパス広場、藤山小学校児童対象のワークショップ、ユニクロサッカーキッズのボランティアなど地域で様々な活動に取り組むことにより、応用力や行動力を育みました。また、地域行政や企業等との連携、コンクールへの挑戦により、平素の学習成果をアピールしました。
- ④ 生活デザイン科の生徒が「全国高校総体の参加章デザイン」最優秀賞を受賞し、食物調理科の生徒が「令和6年度牛乳・乳製品利用料理コンクール山口大会」において優秀賞、保育科の生徒が「瀬戸内グランプリ2024」において優秀賞および日本内航海運組合連合会会長賞を受賞しました。
- ⑤ 普通科6年コース及び特進コースでは、本校からの大学進学者や本校卒業の社会人と在校生の間の交流会(卒業生と語る会)を、進学コースでは3年生が後輩に語る「進路を考える会」を開催し、生徒の進学意欲や職業選択意欲を高めました。
- ⑥ 中学部は、「生徒の個性を尊重し、きめ細かく温かい態度で生徒に接することで一人ひとりの『よさ』を育てること」、また「生徒の関心や疑問を大切にした授業を展開し、主体的に学ぶ力を育てること」を実践しました。生徒の人としての成長も大切に、人間性豊かで気力の充実した人間形成を家庭との連携を図りながらすすめました。個性を尊重する学級経営を重視しつつきめこまかく、温かい態度で生徒に接しながら一人ひとりのよさを生かす努力を継続しました。

(3) 幼稚園

- ① 遊具点検に基づき、ブランコの支柱交換及びチェーン補修を行いました。
- ② 施設・設備の老朽化に伴い、1号館東保育室、3号館1階西保育室、3号館1階東保育室のエアコン交換工事を実施しました。

(4) 奨学事業

学業成績優秀な学生へ授業等の減免を行いました。

① 大学・短期大学部

大学		短期大学部	
推薦奨学生	14人	推薦奨学生	12人
島しょ部奨学金	0人	島しょ部奨学金	0人
フロンティア特待生Ⅰ	11人	フロンティア奨学生	4人
フロンティア特待生Ⅱ	1人	社会人奨学生	0人
社会人学生特別奨学生	1人	アドバンス奨学生	0人
利子補給制度奨学生	5人		
宇部フロンティア大学付属香川高等学校特別推薦奨学生	2人		
看護学部編入学奨学金	5人		

② 中学校・高等学校

高等学校・中学校では、学業やスポーツ・芸術活動に秀でた生徒を経済的な側面から支援し、その活動を奨励することを目的に、入学時納付金の免除と授業料の減免措置を行う「入試奨学生制度」及び「教育奨学生制度」を設け、令和5年度と同様に6年度の奨学事業を行いました。昨年並みの成果を上げ、特に推薦入試で多くの生徒を確保することができました。

(5) 地域連携

① 大学・短期大学部

- ・宇部市消防団協力事業所として、学生は宇部地区の総合防災訓練への参加や地区行事等で防災知識の普及に努め、地域防災活動に貢献しました。
- ・令和4年に設立された「うべ・未来共創プラットフォーム」(宇部市、山口大学、宇部フロンティア大学、宇部工業高等専門学校、宇部商工会議所、山口銀行)に参画して活動しています。令和6年度は2つのワーキンググループ(『認知症予防・認知症との共生(認知症WG)』、『若者が集まる中心市街地』)の活動に教員が参画し、特に『認知症WG』の活動として、10月の大学祭に併せて、宇部市高齢福祉課と市内の介護福祉施設にご協力いただき、認知症への理解を深めるための公開講座と認知症カフェを実施し、2月のゆめタウン宇部における宇部市主催の認知症啓発イベントにおいて、本学看護学部学生によるハンドマッサージを実施しました。
- ・「夏休みジュニア科学教室実行委員会」との連携により山口県内全域の小学5年生から中学3年生を対象にした「夏休みジュニア科学教室」を開催しています。令和6年度は短期大学部が食物栄養学科の「微生物の力でピザを作ってみよう」、大学が心理学部の「わたしたちは錯覚のなかで生きている？わたしの世界をつくる心のはたらきを学ぼう！」というテーマで講座を実施しました。

- ・大学院人間科学研究科では、「附属臨床心理相談センター」において地域住民の心理相談を行いました。また、地域のこころの相談拠点として不登校やひきこもりになった10代から20代の子どもや若者を集め、それぞれの生き方を模索していく居場所として「フリースペース・フロンティア」を設置しており、毎週開催しました。
- ・短期大学部では、山口県と委託訓練契約を締結し、山口県立西部高等産業技術学校養成科の訓練生を受け入れ、保育士及び栄養士を養成しました。
- ・短期大学部では、山口県立宇部西高等学校および宇部フロンティア大学附属香川高等学校との高大連携協定を結んで教育連携を行っています。今年度も短期大学部の授業科目を受講する科目等履修生として受け入れました。
- ・食物栄養学科では、授業で培った学生の栄養指導力を地域の食育に役立てることを目的に「ふれあい食講座」を藤山地区の高齢者を対象に実施しました。また、自治体や地元企業と連携により地元食品を用いた商品開発や弁当のメニュー開発に取り組みました。さらに、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟からの依頼により、小学生高学年を対象に教員、学生とともにクリスマスケーキ、クリスマスカードを作りました。
- ・保育学科では、宇部市との包括的連携・協力に関する協定に基づき、宇部市委託事業として「放課後児童支援員研修会」を実施しました。

② 高等学校

- ・専門科を中心に、宇部まつりのキャンパス広場、藤山小学校児童対象のワークショップ、ユニクロサッカーキッズのボランティアなど地域で様々な活動に取り組むことにより、応用力や行動力を育みました。また、地域行政や企業等との連携、コンクールへの挑戦により、平素の学習成果をアピールしました。
- ・藤山ふれあいセンターとの連携を深め、地域ボランティアに積極的に参加しました。令和6年度からは中学生も参加し藤山中学校の生徒との交流も深まりました。
- ・地域や各種団体、企業等との連携を推進し、生徒の主体的な体験型学習の場を学校外に求めることを推進するために、学習をリードするコーディネータを招きワークショップ等を通じて充実を図りました。
- ・プロバスケットチーム「山口パッツファイブ」と提携を結びました。試合へ無料招待していただいたり、試合前にダンス部が演技をさせていただいたりしました。本校の体育館をユースチームの練習場所に提供しています。

③ 幼稚園

- ・幼稚園では、藤山小学校5年生との「ハッピー鯉のぼりづくり」を実施するとともに「藤山ふるさとまつり」に参加し、地域との交流を進めました。

(6) 就職・進学状況・国家試験合格実績

(令和6年度実績)

①大学

・就職状況

学部・学科	就職先	就職者数(就職率)
心理学部 心理学科	一般企業	20
	福祉施設	6
	その他団体	2
	計	28人(100.0%)
看護学部 看護学科	国公立大学法人附属病院	10
	県立・市立・公立病院	1
	社会福祉法人恩賜財団済生会	9
	独立行政法人地域医療機能推進機構	4
	独立行政法人国立病院機構	4
	独立行政法人労働者健康安全機構	1
	私立大学附属病院	5
	医療法人などの病院	12
保健師	2	
	計	48人(100.0%)
総計		76人(100.0%)

・進学状況

学部・学科	進学先	進学者数(進学率)
心理学部 心理学科	本学大学院人間科学研究科	9人
総計		9人(100.0%)

・国家試験合格実績

学部・学科	国家試験名	合格者数(合格率)
看護学部看護学科	看護師(新卒のみ)	45人(83.3%)
	保健師(新卒のみ)	8人(88.9%)
大学院	公認心理師(新卒のみ)	1人(33.3%)

② 短期大学部

・就職状況

学 科	就職先	就職者数(就職率)
保育学科	保育園	18
	幼稚園	1
	認定こども園	1
	福祉施設	6
	計	26人(100.0%)
食物栄養学科	給食会社	1
	保育園・認定こども園・幼稚園	6
	福祉施設	5
	病院	12
	一般企業(調理職・分析開発職)	4
	一般企業等(上記以外の一般職)	4
	公務	3
	計	35人(94.6%)
総 計		61人(96.8%)

・進学状況

学部・学科	進学先	進学者数(進学率)
	専門学校	2人
総 計		2人(100.0%)

③高等学校

・合格状況

【国公立大学】

筑波大学 情報	1	山口大学 人文	1	山口東京理科大学 薬	1
筑波大学 体育	1	山口大学 農	1	周南公立大学 人間健康	1
鳥取大学 医	1	鹿児島大学 水産	1	下関市立大学 経済	4
山口大学 教育	1	兵庫県立大学 理	1	山口県立大学 看護栄養	1
山口大学 経済	1	山口東京理科大学 工	4	九州歯科大学 歯	1

計 21 名

【私立大学】

中央大学 法	1	同志社大学 商・文化情報	2	広島国際大学 健康スポ・健康科学・薬	3
北里大学 理	1	同志社女子大学 表象文化	2	東亜大学 医療・人間科学	2
明海大学 歯	1	龍谷大学 国際	1	梅光学院大学 国際	1
東京薬科大学 生命科学	1	関西大学 環境都市・商	2	宇部フロンティア大学 看護・心理	3
日本大学 松戸歯	1	近畿大学 建築・工・産業理工・生物理工・理工	7	山口学芸大学 教育	1
法政大学 人間環境	1	関西学院大学 生命環境	2	九州産業大学 経済・芸術・商	3
鶴見大学 歯	1	川崎医療福祉大学 保健看護	1	久留米大学 経済・芸術・商	5
朝日大学 歯	1	就実大学 心理	1	西南学院大学 人間科学	1
名城大学 農	1	広島修道大学 経済科学・人文	4	福岡大学 スポーツ・経済・工・法・薬・理	6
京都精華大学 国際文化	1	広島文教大学 人間科学	1		

計 58 名

【専門学校】

YIC ビューティモード専門学校	1	YIC 山口調理製菓専門学校	3	YIC 情報ビジネス専門学校	1
福岡美容専門学校	4	山口理美容専門学校	3	辻調理製菓専門学校	2

他 18 名 計 32 名

・就職状況

就職先	就職者数 (就職率)
一般企業・その他	27
福祉施設・病院等	3
計	30 名 (100%)

(7) 入試状況

①大学・短期大学部

大学・短期大学部の学科別志願者数の最近5年間の推移は以下の通りです。

学科	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心理学科	94	87	78	63	52
看護学科	116	126	86	94	65
保育学科	39	37	30	43	16
食物栄養学科	31	55	49	48	26

②中学校・高等学校

令和6年度は、感染症の対策をそれほど気にすることなく、予定どおりオープンキャンパスや保護者対象学校説明会、体験授業などを実施しました。中学校・高校ともに令和7年度入試からWEB出願とWEB決済を導入しました。大きな混乱はなく入試業務を効率的なものに改善することができました。

受験者数が減少している保育科の対策として、令和5年度に引き続き公立中学校2校で保育職出前講座を実施しました。高等学校は令和5年度に推薦入試の要項を大幅に変え、早い時期に積極的な確保を試みましたが、令和6年度も引き続きこの方法で募集し一定の成果をあげました。結果的に、一般入試の志願者も増加し、令和7年度は令和6年度とほぼ同数の入学者を確保できました。

中学校では、学校説明会や授業見学会、授業体験会、入試プレテストの開催に加えて、小学校や塾を複数回訪問することで積極的に情報発信を行ないました。

また、中学校の入試の時期と科目を変更しました。推薦入試を年内の12月に実施し、科目は、推薦入試一般入試ともに国語と算数のみとしました。

(8) 国際交流

①大学・短期大学部

昌信大学校との交流事業及びニューカッスル大学での語学研修は、いずれも実施を検討したものの、実現には至りませんでした。

②中学校・高等学校

昌信高校・中学校と定期的な交流活動を行ってきましたが、現実的にこの活動は継続が難しいと判断し本交流活動は終了としました。

海外語学研修については、これまでシンガポールやオーストラリアにて実施してきましたが経費が大幅に増大したため参加者が限られてきました。そこで、令和6年度は研修先をカンボジアに変更して、体験型研修を実施しました。現地での研修は同世代の学生達との交流を含め大変充実したものでした。全校生徒に向けての報告会の準備を進めています。

(9) 施設・設備の整備

緊急性、重要性に基づいて教育環境の充実・向上、安全性確保に重点を置き次の施設・設備の整備を行いました。

(単位：千円)

大学・短期大学部	大講義室プロジェクター設備更新	4,213
	事務部パソコン更新	1,012
高校・中学	校舎等 LED 化工事	7,700
	4号館・食堂間の駐車場舗装工事	4,950
幼稚園	保育室空調設備更新工事	1,980
	園庭遊具ブランコ支柱改修工事	1,606

3. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

1. 中期計画策定の目的

- ・持続可能な財政基盤の安定と地域に根差した教育環境の構築・維持のために策定
- ・学園に設置している大学、大学院、短期大学、高校、中学校及び幼稚園の明確なビジョンと教育活動の充実によって「選ばれる私学」となるための具体的取り組みの計画・実行

2. 基本方針

- ・地元根差した学園の総合力を高めてステークホルダーとの関係を保ち、公共性・地域貢献等を念頭に必要な人材を育成・輩出することで地域社会に貢献できるように、建学の精神に基づいて多様性に対応して一貫した教育を行うために、設置校の魅力ある教育内容を俯瞰的、横断的に見直し、幼稚園から大学院までの総合学園としてのブランド力の強化と更なる教育力・総合力の達成を目指します。
- ・各所属校のライバル校を明確に定めて分析を行い、ライバル校を超えるために必要とする行動を確認して、各所属校の改善に活かします。
- ・中期計画を履行して諸課題を学園全体で共有するためには、理事会を中心とした PDCA サイクルを構築し、計画をモニタリングする機能を持たせ、その結果や対応をすみやかに所属長に共有します。
- ・財政の強化に向けて、徹底した収支管理を設置校ごとに独立採算していくことで経費節減への強い意識や、必要な施設整備費用及び特色ある教育に必要な経費には集中的に投資するなど、選択と集中によって戦略的に運営を行います。
- ・経常収支差額での収入と支出はたえず均衡を図ります。
- ・更なる広報活動で学生・生徒を確保するために、本学園の特色ある教育内容を広く周知し、教育イベントのメディア掲載を増加させる方向で活動します。

3. 計画期間

令和2（2020）年4月1日～令和7（2025）年3月31日までの5年間

4. 令和6年度（2024年度）の年度計画の進捗・達成状況

(1) 総括

- ・中期計画に基づいて令和5年度年度計画を作成し、実施しました。
大学・短大（18項目）、中学・高校（11項目）、幼稚園（8項目）、宇部環境技術センター（4項目）、学園事務局（4項目）
- ・進捗・達成状況は、担当部局で項目ごとに進行管理ワークシートを作成し、4段階（順調=4、おおむね順調=3、遅れ=2、大幅に遅れ=1）で評価しました。
- ・4段階を4点満点で評価した場合の平均値は以下のとおりです。

	平均値
大学・短大	3.3
中学・高校	3.6
幼稚園	3.5
宇部環境技術センター	4
<u>学園事務局</u>	<u>3.7</u>
全体	3.6

(2) 法人中期計画にもとづく所属別令和6年度年度計画の進捗・達成状況

1. 大学・短大

大項目	中項目		自己評価	年度計画（下線、新規事業）	達成状況（下線、新規事業）
	No	内容			
あなたらしさを仕事力にするための教育改革	1	きめ細かな教育の展開	3	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前教育、初年次教育の実施 ・キャリア教育の実施 ・国家試験対策の実施 ・主体的及び客観的学修成果を把握する方策の検討 ・GPA制度を活用した成績不振者への学修指導の強化 ・教育改善のためのFD実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学科、全入試区分で入学前教育を実施 ・PROGテスト(ジェネリックスキルを評価する業者テスト)を自己分析や進路選択のツールとして活用してキャリア教育を実施 ・国家試験(看護師、保健師、公認心理師)の対策講座・模擬試験を実施 ・各学科で学修成果を評価する方策を検討・実施 ・「GPAを活用した学習指導の指針」(2021年策定)に基づいて成績不振者の学習指導を実施 ・全学FD・SD研修会でアクティブラーニング実践報告を実施
	2	教育改善に資する研究活動の推進	4	<ul style="list-style-type: none"> ・紀要・年報の編集、発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・紀要、年報を編集・発行し、紀要に掲載した学術論文を「山口県大学共同リポジトリ維新」に登録
	3	点検・評価サイクルの確立	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「3つの方針に関するアセスメントポリシー(2024年版)」に基づく「3つのポリシーに関するアセスメント報告書」の作成 ・重点取組課題への改善策の立案と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「3つの方針に関するアセスメントポリシー」に基づく「3つのポリシーに関するアセスメント報告書」の作成・公表 ・主観的及び客観的学修成果を把握・活用のため、学生調査を実施し、全学FD・SD研修会で報告
	4	教員評価制度の整備	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーチングポートフォリオを活用した教員評価制度の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教員の教育活動に関する規程」に基づいて各教員が作成したティーチングポートフォリオを学内公開(公開承諾者のみ) ・優れた教育活動を行っている教員を顕彰
知の拠点として地域社会の発展に寄与する地域貢献	5	地域貢献の推進	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の地域活動の実態の把握 ・<u>宇部市との公開講座の共催、実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>「うべ未来共創プラットフォーム」のプロジェクトにより宇部市と学外にて実施</u>
安定した志願者を確保するため	6	入試広報活動の見直し	3	<ul style="list-style-type: none"> ・入試広報の年間計画の策定、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムによる情報発信、高校訪問、業者

の入試広報改革					ガイダンス参加、オープンキャンパス開催、夢ナビ・進学フェア等への参加
	7	点検・評価サイクルの確立	3	<ul style="list-style-type: none"> 「3つの方針に関するアセスメントポリシー(2024年版)」に基づく「3つのポリシーに関するアセスメント報告書 2024年版」の作成 重点取組課題への改善策の立案と実施 	「3つの方針に関するアセスメントポリシー」に基づく「3つのポリシーに関するアセスメント報告書」の作成・公表
	8	高大接続の推進	3	<ul style="list-style-type: none"> 学園内進学者を増加させるために香川高校と連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 香川高校対象オープンキャンパス、出張講義を開催 高校へ出前講座を実施
	9	社会人学び直しへの対応	3	<ul style="list-style-type: none"> 教養履修制度の広報活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 教養履修制度の説明会、個別相談、入試を実施
	10	留学生の確保	3	<ul style="list-style-type: none"> 留学生の受入体制、教育プログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 在学中の留学生を対象にバス旅行を実施 入学予定者への指導
学生の満足度を向上させるための事務組織・各種委員会改革	11	各種委員会の改革	4	<ul style="list-style-type: none"> 各種委員会の運営状況の把握と改善 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に実施済み
	12	事務組織の改革	3	<ul style="list-style-type: none"> SDの企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全学FD・SD研修会で全教職員を対象に広報活動に参加できるよう広報活動の現状及び各学部、学科の特徴を広報担当者から説明 大学入試を取り巻く現状の講演を企画・実施
	13	情報公開	4	<ul style="list-style-type: none"> 教学マネジメントに関する情報の積極的公開 	<ul style="list-style-type: none"> 3つのポリシーに関するアセスメント報告書を作成・公表
健全で持続可能な法人運営のための財務改革	14	予算編成及び予算執行	4	<ul style="list-style-type: none"> 次期財務中期計画の策定・実施 前年度事業計画書・決算書類の作成・公表 収支均衡を目指した次年度予算の編成 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業報告書を作成・公表 令和6年度事業計画書を作成・公表 財務中期計画を実績に基づいて見直し
	15	補助金の獲得	2	<ul style="list-style-type: none"> 補助金に係る取組の洗い出しと実施 	<ul style="list-style-type: none"> 私立大学等経常費補助金の「教育の質に係る客観的指標」への対応を検討
	16	基金の充実	4	<ul style="list-style-type: none"> UF-FUNDの周知と振込用紙配布先の検討・実施 ホームページへの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> UF-FUND振込用紙を教育後援会理事会報告に同封して保護者に配布 ホームページのトップページに掲載、募集
	17	施設整備計画	3	<ul style="list-style-type: none"> 大講義室プロジェクターの更新 	<ul style="list-style-type: none"> 大講義室プロジェクター関連の設備を更新
	18	情報公開	4	<ul style="list-style-type: none"> 財務情報及び理事等の情報を適切に公表 	<ul style="list-style-type: none"> 法令で定められているすべての情報をホームページで公開し、最新の情報に更新
		平均値	3.3		

2. 中学・高校

大項目	中項目		自己 評価	年度計画（下線、新規事業）	達成状況（下線、新規事業）
	No	内容			
特色ある教育内容の充実	1	安定した入学者の確保	4	<ul style="list-style-type: none"> ・国の就学支援金制度や本校独自の奨学金制度の周知 ・中学入学者及び6年コース、特進コース、保育科への進学者を確保 ・高校入学者の確保、部活動を通じての入学者の積極的な掘り起こし ・入学試験の奨学生制度の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路説明会・中学校訪問時に就学支援金制度、本校の奨学金制度を周知 ・保護者対象学校説明会・授業見学会・授業体験会・入試説明会・オープンキャンパス等を実施 ・入学試験の奨学生制度を大幅に見直したことにより、推薦入試の受験生が昨年同様に増加 ・特進コースへの進学は増加傾向にあるが、中学校および保育科については横ばいである ・フロンティア剣道大会を開催
	2	高校の進路指導の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の充実、ニューフロンティア・スタイルの実践 ・キャリア教育の実施 ・大学入試制度改革に即した進学指導の実施 ・学園内高大接続の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文添削、面接練習、二次対策など生徒の状況にあわせた個別指導を実施した効果で、国公立大学に現役生14名が合格 ・共通テスト対策を実施 ・大学出前講義を実施 ・夏休みに難関大学見学会として京都大学、同志社、立命館大学を訪問 ・進路を考える会、卒業生が語る会を実施 ・宇部フロンティア大学付属香川高等学校生対象の短大・大学のオープンキャンパスを実施
	3	生徒の学力向上の方策	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の充実 ・課外授業、早朝勉強会の実施 ・個別指導の充実 ・「数学とことん講座」及び放課後、大学生のチューター派遣制度の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝、放課後の課外授業、スタディサプリ、数学とことん講座を実施 ・小論文添削、面接練習、二次対策など生徒の状況にあわせた個別指導を実施 ・本校卒業生の山口大学医学部の学生を放課後学習のチューターとして採用 ・夏季課外授業・新3年生を対象に春季課外授業を実施
	4	生徒に魅力ある学校行事の展開	4	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に即した学校行事の推進 ・魅力ある学校行事の選択と集中 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事企画委員会を定期的に開催し、以下の学校行事を実施 ※高校の主な行事 文化祭、オープンキャンパス、クラスマッチ、恩師招待会、高校2年修学旅行(普通科：ハワイ、沖縄、専門科：関東)、保護者対象入試説明会、体験授業、専門科課題研究発表会、卒業

					<p>生と語る会</p> <p>※中学の主な行事</p> <p>宗隣寺の座禅会、中3 修学旅行（北海道）、学校説明会、授業見学会、授業体験会、入試プレテスト、弁論大会、スポーツマッチ、英語スピーチコンテスト、クリーンアップデー</p>
	5	国際交流の推進	3	<ul style="list-style-type: none"> 国際化社会に通用する生徒の育成 海外研修 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策、経費増大のため取り止めていた海外研修をカンボジアで実施した
	6	基本的な生活習慣の育成と生徒指導の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の醸成（身だしなみ・挨拶の指導、情報モラル教室、交通安全教室、消費者教育セミナー等の実施） 校則改正を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 中・高1年生を対象に情報モラル教室を開催 高校1年生を対象に交通安全教室を開催 普通科3年生を対象に消費者教育セミナーを開催 ジェンダーレス化（下足、リボン等）を推進 ソックスやブラウス等一部規定を変更
	7	部活動の活性化	4	<ul style="list-style-type: none"> 重点を置く部活動の明確化 生徒に魅力ある新たな部活動の検討 奨学生制度の見直し及び活用 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集要項に推薦入学の対象とする重点部活動名（7部活動）を明記し、重点部活動顧問及び管理職等による中学校訪問を実施 重点部活動顧問による生徒募集に向けての対策会議を開催・重点部活動の体験会を8月、9月で実施 奨学生の見直しにより、推薦入学試験の部活動での受験者数を一定数確保 高校男子弓道部が高校総体で団体優勝、中学弓道部が全国選抜大会で優勝 高校男子ソフトテニス部がベスト8
	8	情報公開	4	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報公開 学校各部門におけるデジタル化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年4月に向け、ホームページおよび学教紹介動画新規作成の準備 ホームページに進学、就職の進路決定状況を公開 ホームページやInstagramに学校行事や部活動の成果をタイムリーに掲載 高校正面フェンスに部活動での成果を横断幕で掲示 市の記者室に情報を積極的に提供 You Tubeで動画を積極的に配信
教育環境	9	教育環境の整備	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会に対応した教育設備等の整備 校務支援システムの活用 校務支援システムによるWEB出願および決済 中学・高校施設のLED化 	<ul style="list-style-type: none"> 校内LANと校内Wi-Fiを強化 校務支援システム（BLEND）を積極的に活用 中高入試にてWEB出願、WEB決済を導入 特別予算計画に基づき、食堂前駐車場の舗装化や

				<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実と安全点検 ・防火防災体制の整備・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン設備の更新等施設整備を実施 ・第一体育館、5号館等でLED化
教職員の資質向上	10	教職員の資質向上	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教員研修の充実 ・新任教員指導体制の整備 ・事務職員研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT及びBLENDに対応する研修を実施 ・県の教育課程説明会に参加し、校内で教科会議を実施 ・新任教員への指導計画を策定・実施・入職1年目事務職員の研修を実施・新任・中堅教員を主たる対象として研究授業を年2回実施
学校運営	11	学校運営状況の確認と分析	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営状況の確認と分析 ・<u>中学の入試改革、特色ある入試へ変更</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の入学試験について ①推薦入学試験の志願者数は160名(昨年と同数) ②一般入学試験の志願者数は592名(81名増) 進学コースの入学者増が顕著 ・中学の入学試験について ①推薦入学試験の受験者数は44名(1名減) ②一般入学試験の受験者数は3名(4名減) ・進学コースの志願者が増加し、専門科では生活デザイン科の志願および入学が増加傾向 ・<u>中学の推薦入試を12月に実施</u> ・<u>中学の入試科目を国語、算数の2科目に縮小</u>
		平均値	3.6		

3. 幼稚園

大項目	中項目		自己評価	年度計画（下線、新規事業）	達成状況（下線、新規事業）
	No	内容			
特色ある教育内容の充実	1	安定的な入園者の確保	3	<ul style="list-style-type: none"> 未就園児、2歳児の子育て支援の充実 園児募集等広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新頻度、内容を充実させるとともに、<u>インスタグラムを開設</u>して本園の魅力を発信している。
	2	教育内容の充実	4	<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育（特別支援教育）の推進 自己指導能力（非認知能力）の育成 高校保育科、短大保育学科、大学看護学科実習実施 	<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育推進のため、療育施設等と連携するとともに、配慮を必要とする園児に支援員を加配した。 高校・短大保育、食物栄養、大学看護実習を実施できた。
	3	地域との連携	3	<ul style="list-style-type: none"> 幼保小連携の推進 地域活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 藤山小との連携行事を実施できた。 地域行事「藤山ふるさとまつり」に参加した。
教育環境	4	教育環境の整備	3	<ul style="list-style-type: none"> 事故・災害等の緊急時対処マニュアルの改善 遊具の保守・点検 	<ul style="list-style-type: none"> すべての通園バスに置き去り防止のための車内点検サポートシステムを搭載している。 遊具安全点検結果に基づき、ブランコの補修を実施した。
	5	施設・設備の改善	4	<ul style="list-style-type: none"> 教室エアコンの改修 教室のLED照明化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 3号館東保育室のエアコン交換工事を実施した。 2号館のLED照明工事を実施した。
教職員の資質向上	6	教職員の資質向上	4	<ul style="list-style-type: none"> OJT（On the Job Training）による園内研修の充実 各種教職員研修への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 教員を計画的に園外研修に派遣することができた。
	7	教職員の働き方改革の推進	4	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用による教職員の業務改善 教職員の時間外勤務の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間の管理により、時間外勤務削減の意識が向上した。 園からのお知らせ等について、電子メールによる配布を増やし、事務作業の負担軽減を図った。
園の運営	8	分析と改善	3	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園評価による園の運営状況の確認・分析・改善 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員による自己評価、保護者、評議員による外部評価を実施し、PDCAサイクルに基づいた見直し、改善を行った。
		平均値	3.5		

4. 宇部環境技術センター

大項目	中項目		自己評価	年度計画（下線、新規事業）	達成状況（下線、新規事業）
	No	内容			
経営体質の強化	1	経営体質の強化	4	・新体制（分析課、渉外課、業務課）の運営状況を適宜検討し、問題点を改善	・各課でまとまった打ち合わせを頻繁に実施した。
	2	施設・設備の改善	4	・既存備品の適時更新 ・人件費削減のための新規備品導入の検討 ・老朽化した施設等の修理 ・新築を含めた将来構想を数年かけてまとめる。	・新築については、概算で9億円以上の資金があることがわかった。そこで、当面は既存の建物の補修を図ることになった。また、老朽化のひどいガーデンラウンジは解体した。
特色ある業務の遂行	3	調査研究の推進	4	・香川高校の生徒及び教員を対象として環境分析とSDGsの関係を学ぶ実習「ハカラボ」の開催 ・「ハカラボ」のようなイベントを学園外他組織と進める可能性を探る。 ・センターで実施可能な新規事業について調査・研究	・周防大島高校で実施している「日本アワサンゴ」の飼育で水質管理について3年間の無償援助を行った。
将来を見据えた組織体制の確立	4	組織体制の見直し	4	・黒字収支の増加を目指した県内全域での受注増加 ・渉外課を中心に問題点の改善	・渉外課を中心に県内を回った。
		平均値	4		

5. 学園事務局

大項目	中項目		自己評価	年度計画（下線、新規事業）	達成状況（下線、新規事業）
	No	内容			
中期計画の策定と確立	1	中期計画の策定と確立	4	・中期計画に基づく年度計画の作成・進行管理・達成度評価	・中期計画の年度計画を策定し、年度末の達成状況を報告した。
財務強化の取組	2	財務強化の取組	3	・財務中期計画の進捗管理・修正	・7月の理事会において、令和5年度決算の実績値、5月1日の学生生徒園児数、施設設備整備計画の変更を反映させた財務中期計画を審議、議決した。
理事会ガバナンス強化	3	理事会のガバナンス強化	4	・大学・短大のガバナンスコードの点検実施	・ガバナンスコードの点検を実施し、理事会で審議を行った。
教育力・経営力の強化	4	教育力・経営力の強化	4	・事業計画書、事業報告書及び決算書類の作成・公表 ・収支均衡を目指した次年度予算の編成	・令和6年度事業計画書及び令和5年度決算関係書類をホームページに掲載した。 ・令和7年度収支予算書を編成し、評議員会へ諮問の後、理事会で審議、議決した。経常収支差額は、支出超過見込みとなった。
		平均値	3.7		

4. 校地・校舎等の状況

(単位：㎡)

部門	区分	文京町 キャンパス	文京台 キャンパス	寄宿舍敷地	合計
大学	校地		36,483.40		36,483.40
	校舎等	1,031.91	12,880.83	1,033.56	14,946.30
短期大学部	校地	24,462.36			24,462.36
	校舎等	14,278.63	1,320.24		15,598.87
中学校・ 高等学校	校地	29,289.91	24,371.00		53,660.91
	校舎等	15,569.40			15,569.40
幼稚園	校地	3,650.85			3,650.85
	校舎等	1,542.25			1,542.25
宇部環境技術センター	敷地	837.00			837.00
	建物	862.71			862.71
合計	校地	58,240.12	60,854.40	0.00	119,094.52
	校舎等	33,284.90	14,201.07	1,033.56	48,519.53

Ⅲ. 財務の概要

1. 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

貸借対照表は、年度末時点における資産、負債及び純資産（基本金+繰越収支差額）の状況を表し、財政状態を明らかにします。

資産の部合計は56億77百万円（昨年度より3億24百万円減少）、負債の部合計は7億74百万円（昨年度より2億54百万円減少）となり、その結果、純資産は49億2百万円（昨年度より69百万円減少）となりました。

有形固定資産の建物の減少は当期減価償却に伴うものです。流動資産については、現金預金等の減少により、1億61百万円減少となりました。

固定負債の減少は借入金の返済に係る減少によるものです。流動負債の減少は、借入金の返済が一部完了となることによる短期借入金の減少や、未払金の減少が主な要因です。

貸借対照表

令和7年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(4,897,255,962)	(5,060,355,903)	(△163,099,941)
有形固定資産	< 4,475,246,462 >	< 4,623,369,051 >	< △148,122,589 >
土地	1,162,110,747	1,162,110,747	0
建物	2,843,457,768	2,982,790,726	△139,322,958
構築物	129,074,398	135,001,050	△5,926,652
教育研究用機器備品	70,170,343	70,441,600	△271,257
管理用機器備品	9,591,741	11,211,998	△1,620,257
図書	251,856,639	250,184,386	1,672,253
車両	8,984,826	11,628,544	△2,643,718
特定資産	< 275,726,000 >	< 260,881,398 >	< 14,844,602 >
退職給与引当特定資産	225,726,000	210,881,398	14,844,602
第3号基本金引当特定資産	50,000,000	50,000,000	0
その他の固定資産	< 146,283,500 >	< 176,105,454 >	< △29,821,954 >
電話加入権	2,771,834	2,771,834	0
施設利用権	1,055,484	1,151,438	△95,954
有価証券	70,200,000	99,926,000	△29,726,000
収益事業元入金	72,206,182	72,206,182	0
出資金	50,000	50,000	0
流動資産	(780,490,424)	(941,608,871)	(△161,118,447)
現金預金	727,072,494	796,271,139	△69,198,645
未収入金	49,089,927	140,984,400	△91,894,473
仮払金	0	28,242	△28,242
立替金	2,913	0	2,913
前払金	4,325,090	4,325,090	0
資産の部合計	5,677,746,386	6,001,964,774	△324,218,388

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(592,336,560)	(648,202,885)	(△55,866,325)
長期借入金	84,000,000	121,127,000	△37,127,000
退職給与引当金	508,336,560	527,075,885	△18,739,325
流動負債	(182,473,086)	(381,476,532)	(△199,003,446)
短期借入金	37,127,000	83,004,000	△45,877,000
未払金	36,797,272	144,105,062	△107,307,790
前受金	87,466,500	131,813,000	△44,346,500
預り金	21,082,314	22,554,470	△1,472,156
負債の部合計	774,809,646	1,029,679,417	△254,869,771
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	(8,112,151,234)	(8,027,600,206)	(84,551,028)
第1号基本金	7,930,151,234	7,845,600,206	84,551,028
第3号基本金	50,000,000	50,000,000	0
第4号基本金	132,000,000	132,000,000	0
繰越収支差額	(△3,209,214,494)	(△3,055,314,849)	(△153,899,645)
翌年度繰越収支差額	△3,209,214,494	△3,055,314,849	△153,899,645
純資産の部合計	4,902,936,740	4,972,285,357	△69,348,617
負債及び純資産の部合計	5,677,746,386	6,001,964,774	△324,218,388

経年比較

(単位 千円)

科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定資産	5,800,202	5,232,705	5,101,446	5,060,355	4,897,255
有形固定資産	5,492,974	4,955,595	4,779,431	4,623,369	4,475,246
特定資産	230,537	200,538	245,539	260,881	275,726
その他の固定資産	76,690	76,571	76,475	176,105	146,283
流動資産	805,987	880,907	901,366	941,608	780,490
資産の部合計	6,606,190	6,113,613	6,002,812	6,001,964	5,677,746
固定負債	952,847	858,591	753,736	648,202	592,336
流動負債	315,042	314,333	277,064	381,476	182,473
負債の部合計	1,267,889	1,172,924	1,030,800	1,029,679	774,809
基本金	9,125,790	8,869,738	7,953,798	8,027,600	8,112,151
繰越収支差額	△3,787,489	△3,929,049	△2,981,786	△3,055,314	△3,209,214
純資産の部合計	5,338,301	4,940,688	4,972,011	4,972,285	4,902,936
負債及び純資産の部合計	6,606,190	6,113,613	6,002,812	6,001,964	5,677,746

※科目単位で千円未満を切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります

イ) 財務比率の経年比較

(単位 %)

区 分	算 式	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	評価 指数
固定比率	固定資産/純資産	108.7	105.9	102.6	101.8	99.9	▼
固定長期適合率	固定資産/(純資産+固定負債)	92.2	90.2	89.1	90.0	89.1	▼
流動比率	流動資産/流動負債	255.8	280.2	325.3	246.8	427.7	△
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	80.8	80.8	82.8	82.8	86.4	△
固定負債構成比率	固定負債/(総負債+純資産)	14.4	14.0	12.6	10.8	10.4	▼
運用資産余裕比率	(運用資産-外部負債)/経常支出	0.2年	0.3年	0.4年	0.5年	0.6年	△
総負債比率	総負債/総資産	19.2	19.2	17.2	17.1	13.6	▼
負債比率	総負債/純資産	23.8	23.7	20.7	20.7	15.8	▼
前受金保有率	現金預金/前受金	411.0	429.7	578.7	604.0	831.3	△
基本金比率	基本金/基本金要組入額	97.0	97.9	96.5	97.5	0.99	△
積立率	運用資産/要積立額	19.9	19.7	21.0	23.1	20.9	△

「経常支出」=教育活動支出計+教育活動外支出計

評価指数の印は△ = 高い値が良い ▼=低い値が良い ~ = どちらともいえない

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

資金収支計算書は、年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容及び支払資金の顛末を明らかにする計算書です。

令和6年度の収入の部合計は25億83百万円となりました。授業料等の校納金の収入である学生生徒等納付金収入は、10億43百万円となっており、経年比較では過去5年間で最も少ない金額となりました。日本私学振興・共済事業団からの経常費補助金や、山口県からの運営費補助金等の収入である補助金収入は3億88百万円となっており、こちらも経年比較では過去5年間で最も少ない金額となりました。次年度入学予定者が納入する入学金や授業料等の収入である前受金収入は87百万円となっており、昨年度に比べ44百万円減少し、過去5年間で最も少ない金額となっています。

支出の部合計は、収入の部合計と同じく25億83百万円です。専任・非常勤教職員の給料や社会保険、退職金等の支出である人件費支出は10億27百万円となっており、経年比較で大きな変動はありません。教育研究に係る支出である教育研究費支出は、2億87百万円となっており、直近の5年間で2番目に多い金額となりました。総務・経理・広報等教育研究以外の支出である管理経費支出は、1億26百万円となっており、過去5年間では平均的な金額となっています。翌年度繰越支払資金は、7億27百万円となっており、過去5年間では大きな変動とはなっていません。

資金収支計算書
令和 6 年 4 月 1 日 から
令和 7 年 3 月 31 日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	(1,044,549,000)	(1,043,709,819)	(839,181)
手数料収入	(15,492,000)	(16,065,544)	(△573,544)
寄付金収入	(9,303,000)	(9,785,513)	(△482,513)
補助金収入	(388,401,000)	(388,400,707)	(293)
国庫補助金収入	104,179,000	104,179,300	△300
地方公共団体補助金収入	284,222,000	284,221,407	593
資産売却収入	(0)	(0)	(0)
付随事業・収益事業収入	(51,290,000)	(64,836,255)	(△13,546,255)
受取利息・配当金収入	(2,091,000)	(2,090,302)	(698)
雑収入	(8,521,000)	(11,021,674)	(△2,500,674)
借入金等収入	(0)	(0)	(0)
前受金収入	(128,350,000)	(87,466,500)	(40,883,500)
その他の収入	(345,865,400)	(345,894,040)	(△28,640)
資金収入調整勘定	(△144,842,000)	(△181,627,927)	(36,785,927)
前年度繰越支払資金	(796,271,139)	(796,271,139)	
収入の部合計	2,645,291,539	2,583,913,566	61,377,973

(単位 円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	(1,033,803,000)	(1,027,597,317)	(6,205,683)
教育研究経費支出	(328,028,000)	(287,345,257)	(40,682,743)
管理経費支出	(135,804,000)	(126,469,956)	(9,334,044)
借入金等利息支出	(784,000)	(782,301)	(1,699)
借入金等返済支出	(83,004,000)	(83,004,000)	(0)
施設関係支出	(12,650,000)	(12,650,000)	(0)
設備関係支出	(16,124,000)	(20,209,382)	(△4,085,382)
資産運用支出	(190,000,000)	(190,000,000)	(0)
その他の支出	(148,295,062)	(149,853,165)	(△1,558,103)
資金支出調整勘定	(△43,325,090)	(△41,070,306)	(△2,254,784)
翌年度繰越支払資金	(740,124,567)	(727,072,494)	(13,052,073)
支出の部合計	2,645,291,539	2,583,913,566	61,377,973

経年比較

(単位 千円)

収入の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生生徒等納付金収入	1,123,405	1,122,381	1,155,131	1,111,578	1,043,709
手数料収入	17,944	16,607	16,712	15,739	16,065
寄付金収入	10,341	18,672	7,380	12,184	9,785
補助金収入	431,289	417,324	419,546	417,157	388,400
資産売却収入	746	130	30	100	0
付随事業・収益事業収入	45,128	50,939	54,986	66,122	64,836
受取利息・配当金収入	119	98	38	547	2,090
雑収入	60,268	105,635	76,376	106,443	11,021
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	164,038	169,344	134,968	131,813	87,466
その他の収入	182,464	206,789	189,082	125,673	345,894
資金収入調整勘定	△292,553	△313,625	△285,356	△278,412	△181,627
前年度繰越支払資金	657,254	674,185	727,606	780,998	796,271
収入の部合計	2,400,449	2,468,483	2,496,502	2,489,946	2,583,913
支出の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費支出	1,070,703	1,106,833	1,100,444	1,142,133	1,027,597
教育研究経費支出	250,061	268,394	284,936	297,506	287,345
管理経費支出	124,209	152,697	129,608	123,339	126,469
借入金等利息支出	3,208	2,597	1,968	1,312	782
借入金等返済支出	83,004	83,004	83,004	83,004	83,004
施設関係支出	31,620	54,477	4,455	14,432	12,650
設備関係支出	34,625	17,674	23,057	14,789	20,209
資産運用支出	135,008	50,000	85,000	124,726	190,000
その他の支出	36,403	47,408	42,765	40,862	149,853
資金支出調整勘定	△42,579	△42,209	△39,735	△148,430	△41,070
翌年度繰越支払資金	674,185	727,606	780,998	796,271	727,072
支出の部合計	2,400,449	2,468,483	2,496,502	2,489,946	2,583,913

※科目単位で千円未満を切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります。

イ) 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書の決算額をもとに「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分に分けて表示することにより、学校法人の資金の流れを把握する計算書です。

教育活動資金収支差額は、15百万円となりました。施設整備等活動資金収支差額は、△32百万円となりました。その他の活動資金収支差額は、△52百万円となりました。支払資金の増減額は△69百万円となりました。

活動区分資金収支計算書

令和6年4月1日 から

令和7年3月31日 まで

(単位 円)

		科 目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,043,709,819
		手数料収入	16,065,544
		特別寄付金収入	8,485,513
		経常費等補助金収入	388,400,707
		付随事業収入	50,106,255
		雑収入	11,021,674
		教育活動資金収入計	1,517,789,512
	支出	人件費支出	1,027,597,317
		教育研究経費支出	287,345,257
		管理経費支出	126,469,956
		教育活動資金支出計	1,441,412,530
	差引	76,376,982	
	調整勘定等	△60,919,413	
	教育活動資金収支差額	15,457,569	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	1,300,000
		施設整備等活動資金収入計	1,300,000
	支出	施設関係支出	12,650,000
		設備関係支出	20,209,382
		施設整備等活動資金支出計	32,859,382
		差引	△31,559,382
		調整勘定等	△528,000
		施設整備等活動資金収支差額	△32,087,382
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			△16,629,813

	科 目		金額
	その他の活動による資金収支	収入	退職給与引当特定資産取崩収入
仮払金収入			28,242
小計			204,909,640
受取利息・配当金収入			2,090,302
収益事業収入			14,730,000
その他の活動資金収入計			221,729,942
支出		借入金等返済支出	83,004,000
		有価証券購入支出	70,000,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	120,000,000
		預り金支出	1,472,156
		立替金支出	2,913
		小計	274,479,069
		借入金等利息支出	782,301
		その他の活動資金支出計	275,261,370
差引		△53,531,428	
調整勘定等		962,596	
その他の活動資金収支差額		△52,568,832	
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）		△69,198,645	
前年度繰越支払資金		796,271,139	
翌年度繰越支払資金		727,072,494	

（注記）活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

（単位 円）

項目	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	87,466,500	87,466,500	0	0
前期末未収入金収入	140,984,400	118,573,433	0	22,410,967
期末未収入金	△49,814,927	△28,366,556	0	△21,448,371
前期末前受金	△131,813,000	△131,813,000	0	0
収入計	46,822,973	45,860,377	0	962,596
前期末未払金支払支出	144,053,006	143,525,006	528,000	0
前払金支払支出	4,325,090	4,325,090	0	0
期末未払金	△36,745,216	△36,745,216	0	0
前期末前払金	△4,325,090	△4,325,090	0	0
支出計	107,307,790	106,779,790	528,000	0
収入計 - 支出計	△60,484,817	△60,919,413	△528,000	962,596

経年比較

(単位 千円)

科目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	1,654,363	1,703,726	1,711,704	1,704,894	1,517,789
	教育活動資金支出計	1,444,921	1,527,854	1,513,989	1,562,547	1,441,412
	差引	209,441	175,871	197,715	142,347	76,376
	調整勘定等	75,111	△30,777	△1,475	75,577	△60,919
	教育活動資金収支差額	284,553	145,094	196,239	217,925	15,457
施設整備等活動による資金収支						
	施設整備等活動資金収入計	34,122	16,875	5,620	2,100	1,300
	施設整備等活動資金支出計	66,245	72,151	27,512	29,221	32,859
	差引	△32,123	△55,726	△21,892	△27,121	△31,559
	調整勘定等	△22,640	22,072	1,265	△737	△528
	施設整備等活動資金収支差額	△54,763	△33,204	△20,627	△27,858	△32,087
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		229,790	111,890	175,611	190,066	△16,629
その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	5,533	91,211	52,877	32,540	221,729
	その他の活動資金支出計	221,273	139,395	172,208	210,465	275,261
	差引	△215,739	△48,184	△119,330	△177,924	△53,531
	調整勘定等	2,880	△10,285	△2,888	3,130	962
	その他の活動資金収支差額	△212,859	△58,470	△122,219	△174,794	△52,568
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		16,903	53,420	53,392	15,272	△69,198
前年度繰越支払資金		657,254	674,185	727,606	780,998	796,271
翌年度繰越支払資金		674,185	727,606	780,998	796,271	727,072

※科目単位で千円未満を切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります。

ウ) 財務比率の経年比較

(単位 %)

区分	算式	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	評価指数
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額/教育活動資金収入	17.2	8.5	11.5	12.8	1.0	△

教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

評価指数の印は△＝高い値が良い ▼＝低い値が良い ～＝どちらともいえない

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書は、年度の事業活動収入と事業活動支出の均衡を明らかにする計算書です。教育活動収支、教育活動外収支及び特別収支の三つに区分し、それぞれの収支差額を明らかにするとともに、教育活動収支と教育活動外収支のそれぞれの差額を合計した「経常収支差額」や三つの区分の収支差額を合計した「基本金組入前当年度収支差額」により収支状況の把握を行います。

教育活動収支差額は△87百万円、教育活動外収支差額は16百万円となっており、これらを合計した経常収支差額は△71百万円となりました。経常収支差額の経年比較では、過去5年間で最も大きな支出超過となりました。特別収支差額は、2百万円となりました。

また、基本金組入前当年度収支差額は△69百万円となりました。直近の5年間のうち、3年が収入超過となっています。基本金組入額は△85百万円、基本金取崩額は1百万円となりました。

事業活動収支計算書

令和6年4月1日 から

令和7年3月31日 まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(1,044,549,000)	(1,043,709,819)	(839,181)
		手数料	(15,492,000)	(16,065,544)	(△573,544)
		寄付金	(8,003,000)	(8,485,513)	(△482,513)
		経常費等補助金	(388,401,000)	(388,400,707)	(293)
		国庫補助金	104,179,000	104,179,300	△300
		地方公共団体補助金	284,222,000	284,221,407	593
		付随事業収入	(46,975,000)	(50,106,255)	(△3,131,255)
		雑収入	(31,068,000)	(32,674,039)	(△1,606,039)
		教育活動収入計	1,534,488,000	1,539,441,877	△4,953,877
		事業活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	(1,036,218,000)
教育研究経費	(471,740,000)			(431,056,714)	(40,683,286)
管理経費	(173,933,000)			(164,598,872)	(9,334,128)
徴収不能額等	(0)			(725,000)	(△725,000)
教育活動支出計	1,681,891,000			1,626,890,943	55,000,057
教育活動収支差額		△147,403,000	△87,449,066	△59,953,934	

教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	(2,091,000)	(2,090,302)	(698)
		その他の教育活動外収入	(4,315,000)	(14,730,000)	(△10,415,000)
		教育活動外収入計	6,406,000	16,820,302	△10,414,302
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	(784,000)	(782,301)	(1,699)
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	784,000	782,301	1,699
	教育活動外収支差額		5,622,000	16,038,001	△10,416,001
	経常収支差額		△141,781,000	△71,411,065	△70,369,935
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(1,300,000)	(2,062,450)	(△762,450)
		特別収入計	1,300,000	2,062,450	△762,450
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	(0)	(2)	(△2)
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	0	2	△2
	特別収支差額		1,300,000	2,062,448	△762,448
	基本金組入前当年度収支差額		△140,481,000	△69,348,617	△71,132,383
基本金組入額合計		△129,474,000	△85,699,064	△43,774,936	
当年度収支差額		△269,955,000	△155,047,681	△114,907,319	
前年度繰越収支差額		△3,055,314,849	△3,055,314,849	0	
基本金取崩額		0	1,148,036	△1,148,036	
翌年度繰越収支差額		△3,325,269,849	△3,209,214,494	△116,055,355	

(参考)

事業活動収入計	1,542,194,000	1,558,324,629	△16,130,629
事業活動支出計	1,682,675,000	1,627,673,246	55,001,754

経年比較

(単位 千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		学生生徒等納付金	1,123,405	1,122,381	1,155,131	1,111,578	1,043,709
		手数料	17,944	16,607	16,712	15,739	16,065
		寄付金	7,477	2,608	1,790	10,184	8,485
		経常費等補助金	400,778	416,643	419,546	417,157	388,400
		付随事業収入	44,488	39,849	43,166	46,122	50,106
		雑収入	60,294	109,650	86,763	116,537	32,674
		教育活動収入計	1,654,389	1,707,741	1,723,111	1,717,320	1,539,441
	事業活動支出の部	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		人件費	1,070,592	1,099,596	1,090,000	1,132,028	1,030,510
教育研究経費		417,747	432,368	452,463	447,557	431,056	
管理経費		160,764	189,880	166,045	160,770	164,598	
徴収不能額等		0	505	0	2,460	725,000	
教育活動支出計	1,649,103	1,722,350	1,708,509	1,742,816	1,626,890		
教育活動収支差額		5,285	△14,608	14,601	△25,496	△87,449	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		受取利息・配当金	119	98	38	547	2,090
		その他の教育活動外収入	640	11,090	11,820	20,000	14,730
		教育活動外収入計	759	11,188	11,858	20,547	16,820
	事業活動支出の部	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		借入金等利息	3,208	2,597	1,968	1,312	782
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	3,208	2,597	1,968	1,312	782
	教育活動外収支差額		△2,448	8,590	9,890	19,235	16,038
	経常収支差額		2,836	△6,018	24,491	△6,261	△71,411
特別収支	事業活動収入の部	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		資産売却差額	745	0	29	99	0
		その他の特別収入	35,406	17,525	7,901	7,213	2,062
		特別収入計	36,151	17,525	7,931	7,313	2,062
	事業活動支出の部	科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		資産処分差額	1,703	409,048	101	347	2
		その他の特別支出	52	70	998	431	0
		特別支出計	1,756	409,119	1,100	779	2
	特別収支差額		34,395	△391,593	6,831	6,534	2,062
	〔予備費〕		0	0	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額		37,231	△397,612	31,323	273	△69,348	
基本金組入額合計		△102,225	△123,350	△75,443	△76,471	△85,699	
当年度収支差額		△64,993	△520,962	△44,120	△76,198	△155,047	
前年度繰越収支差額		△3,727,962	△3,787,489	△3,929,049	△2,981,786	△3,055,314	
基本金取崩額		5,465	379,402	991,384	2,669,547	1,148	
翌年度繰越収支差額		△3,787,489	△3,929,049	△2,981,786	△3,055,314	△3,209,214	
(参考)							
事業活動収入計		1,691,300	1,736,455	1,742,901	1,745,181	1,558,324	
事業活動支出計		1,654,068	2,134,067	1,711,578	1,744,908	1,627,673	

* 科目単位で千円未満を切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります。

イ) 財務比率の経年比較

(単位 %)

区 分	算 式	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	評価 指数
人件費比率	人件費/経常収入	64.7	64.0	62.8	65.1	66.2	▼
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	95.3	98.0	94.4	101.8	98.7	▼
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	67.9	65.3	66.6	64.0	67.1	～
寄付金比率	寄付金/事業活動収入	0.6	1.1	0.5	0.9	0.7	△
補助金比率	補助金/事業活動収入	25.5	24.0	24.1	23.9	24.9	△
教育研究費比率	教育研究経費/経常収入	25.2	25.2	26.1	25.8	27.7	△
管理経費比率	管理経費/経常収入	9.7	11.0	9.6	9.3	10.6	▼
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	▼
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	2.2	-22.9	1.8	0.0	-4.5	△
基本金組入後収支比率	事業活動支出/(事業活動収入－基本金組入額)	104.1	132.3	102.6	104.6	110.5	▼
経常収支差額比率	経常収支差額/経常収入	0.2	-0.4	1.4	-0.4	-4.6	△
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入	0.3	-0.9	0.8	-1.5	-5.7	△

「経常収入」＝教育活動収入計+教育活動外収入計

「経常支出」＝教育活動支出計+教育活動外支出計

評価指数の印は△＝高い値が良い ▼＝低い値が良い ～＝どちらともいえない

2. その他

①有価証券の状況

(単位 円)

	当年度(令和7年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	—	—	—
(うち満期保有目的の債券)	(—)	(—)	(—)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	309,726,000	295,121,339	△14,604,661
(うち満期保有目的の債券)	(289,726,000)	(277,111,000)	(△12,615,000)
合 計	309,726,000	295,121,339	△14,604,661
(うち満期保有目的の債券)	(289,726,000)	(277,111,000)	(△12,615,000)
時価のない有価証券	200,000		
有価証券合計	309,926,000		

②借入金の状況

借入先	借入残高	利率	返済期限	担保等
日本私立学校振興・共済事業団	45,000 千円	0.41%	令和9年9月	土地・建物
日本私立学校振興・共済事業団	72,000 千円	0.31%	令和10年9月	土地・建物
山口銀行	3,254 千円	1.00%	令和7年4月	土地・建物
西中国信用金庫	873 千円	1.00%	令和7年4月	土地・建物

③学校債の状況

令和7年3月31日現在において、当法人が発行する学校債及び残高はありません。

④寄付金の状況

寄付金の種類	金額	摘要
大学・短大 教育研究支援基金	5,305 千円	24 件
大学・短大 教育後援会	1,690 千円	施設設備整備他
現物寄付	762 千円	体育文化教育後援会他
高校父母の会・体育文化教育後援会からの寄付	757 千円	クラブ活動指導料他
その他	2,033 千円	助成金、同窓会、卒業記念品他

⑤補助金の状況

補助金の種類		金額	摘要
国庫補助金	経常費補助金	55,078 千円	
	その他	49,101 千円	
地方公共団体補助金	山口県補助金	280,765 千円	私立学校運営費補助金他
	その他	3,456 千円	宇部市

⑥収益事業の状況

香川学園では環境計量請負業を行う宇部環境技術センターを設置しており、その状況は次のとおりです。

令和6年度は、資産合計は3億55百万円、負債合計は1億円、純資産合計は2億54百万円となっており、いずれも直近の5年で最も多い金額となりました。

売上高2億65百万円、営業費用2億39百万円、売上高から営業費用を差し引いた営業利益は26百万円となりました。営業利益に営業外損益を加えた経常利益は、26百万円となりました。経常利益に特別損益を加えた一般会計繰入前当期純利益は、29百万円となりました。学校会計に繰入れる一般会計繰入額は14百万円となりました。当期純利益は11百万円でした。

売上高は、直近の5年で最も多い金額となっています。営業費用である販売管理費は、経年比較では大きな変動はありません。当期純利益は、4年連続で10百万円を超えました。

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位 円)

資産の部	金額	負債及び正味財産の部	金額
I 流動資産		I 流動負債	
現金・預金	119,515,480	短期リース債務	0
貯蔵品	7,627,891	未払金	80,387,105
未収入金	110,959,290	貸倒引当金	665,000
前払費用	67,530		
流動資産合計	238,170,191	流動負債合計	81,052,105
II 固定資産		II 固定負債	
建物	40,278,761	退職給与引当金	19,699,398
構築物	240,147		
その他機器備品	73,393,089	固定負債合計	19,699,398
船舶	1	負債合計	100,751,503
ソフトウェア	2,448,539		
施設利用権	432,000	III 正味財産	
電話加入権	72,800	元入金	72,206,182
		前期繰越利益	171,043,772
固定資産合計	116,865,337	当期利益	11,034,071
資産合計	355,035,528	正味財産合計	254,284,025
		負債及び正味財産合計	355,035,528

減価償却額の累計額 431,875,436 円

損益計算書
自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

(単位 円)

区 分	金額
(経常損益の部)	
I 営業損益	
(1)営業収益	
売上高	265,807,859
(2)営業費用	
販売費及び一般管理費	239,510,773
営業利益	26,297,086
II 営業外損益	
(1)営業外収益	132,095
経常利益	26,429,181
(特別損益の部)	
III 特別損益	
(1)特別利益	3,034,100
(2)特別損失	10
一般会計繰入前当期純利益	29,463,271
一般会計繰入額	14,730,000
税引前当期利益	14,733,271
法人税、住民税及び事業税	3,699,200
当期純利益	11,034,071

経年比較（貸借対照表）

（単位 千円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
流動資産	153,198	181,943	206,698	232,314	238,170
固定資産	129,727	112,554	101,625	102,574	116,865
資産合計	282,925	294,498	308,323	334,888	355,035
流動負債	34,891	45,012	55,655	69,581	81,052
固定負債	39,958	30,320	23,180	22,057	19,699
負債合計	74,850	75,333	78,835	91,639	100,751
純資産合計	208,075	219,164	229,488	243,249	254,284
負債・純資産合計	282,925	294,498	308,323	334,888	355,035

経年比較（損益計算書）

（単位 千円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高	218,767	224,090	234,794	262,116	265,807
販売管理費	217,160	202,718	212,522	224,293	239,510
営業外損益	42	328	216	1,408	132
特別損益	538	479	1,157	783	3,034
当期純利益	658	11,089	10,323	13,761	11,034

⑦関連当事者等との取引の状況

属性	監事藤田敏彦が議決権の過半数を有している会社
法人名	(1) 富士産業株式会社
住所	山口県山陽小野田市
資本金	2,000万円
事業内容	産業機械・建築資材卸売り、総合建設業
取引の内容	空調機設備改修・修理（注）
取引金額	3,248,300円
勘定科目	修繕費、教育研究用機器備品

（注）取引については市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定している。

⑧学校法人間取引

令和7年3月31日現在において、学校法人間の取引はありません。

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

(1) 経営状況の分析

特定資産、有価証券及び現金・預金を合計した運用資産は10億72百万円となっており、昨年度に比べ84百万円の減少となりました。学生生徒等納付金収入、補助金収入、前受金収入が減少しており、教育研究経費支出や管理経費支出等の支出は例年並みとなっていることから、収入の減少が運用資産の減少要因となっていることが考えられます。

経常収支差額は71百万円の支出超過となり、過去5年間で最も多い支出超過となりました。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの事業活動収入が減少しており、支出超過の要因となっていることが考えられます。

以上のような経営状況ではありますが、運用資産は10億円以上保持しており、令和7年度以降の事業を実施するには、十分であると見込まれます。

(2) 経営上の成果と課題

学園の中期計画では、経常収支差額の均衡を基本方針としています。令和2年度から令和5年度までの経常収支差額は、概ね均衡傾向であったと評価していますが、令和6年度は△71百万円となっており、今後この支出超過が拡大しないよう経営することが重要になります。

経営上の課題としては、減価償却額累計額に相当する引当資産を保有していないため、今後老朽化した建物の建て替え資金をどのように捻出するかということが挙げられます。また、大学・短大キャンパス統合に伴い、使用しなくなった旧短大校舎の解体費用の捻出も課題の一つであります。

さらに、財務比率のうち、人件費比率が過去5年間60%を超えており、大学法人の全国平均51.8%（令和2年度の医歯系除く大学法人の全国平均）より高くなっています。人件費比率を減少させるため、人事給与施策の実施と事業活動収入の増加を実現していくことが必要です。

(3) 今後の方針・対応方策

安定した財政を持続するためには、毎年度の入学者が定員を上回り、支出の削減に努め、自己資金を充実することが必要です。しかしながら、全国的な人口の減少により現在の定員を維持することは困難と考えられます。中期計画において各所属でダウンサイジングの検討を行うとともに、適正規模の経営による収支状況の改善を目指します。一方で、必要な施設設備費用及び特色ある教育に必要な経費は集中的に投資するなど、選択と集中によって戦略的に運営を行います。

4. 財産目録

財 産 目 録 令和7年3月31日現在

I	資産総額	5,960,575,732	円
	内 基本財産	4,479,073,780	円
	運用財産	1,126,466,424	円
	収益事業用財産	355,035,528	円
II	負債総額	875,561,149	円
III	正味財産	5,085,014,583	円

科 目	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	124,331.02 m ² 1,162,110,747 円
建物	47,636.65 m ² 2,843,457,768 円
構築物	129,074,398 円
図書	59,626 冊 251,856,639 円
教具・校具・備品	1,341 点 79,762,084 円
車両	11 台 8,984,826 円
その他	3,827,318 円
2 運用財産	
現金・預金	727,072,494 円
退職給与引当特定資産	225,726,000 円
第3号基本金引当特定資産	50,000,000 円
未収入金	49,089,927 円
立替金	2,913 円
前払金	4,325,090 円
有価証券	70,200,000 円
出資金	50,000 円
3 収益事業用財産	355,035,528 円
現金・預金	119,515,480 円
その他	235,520,048 円
資 産 総 額	5,960,575,732 円
負債額	
1 固定負債	592,336,560 円
長期借入金	84,000,000 円
退職給与引当	508,336,560 円
2 流動負債	182,473,086 円
短期借入金	37,127,000 円
未払金	36,797,272 円
前受金	87,466,500 円
預り金	21,082,314 円
3 収益事業用負債	100,751,503 円
未払金	80,387,105 円
その他	20,364,398 円
負 債 総 額	875,561,149 円
正味財産(資産総額－負債総額)	5,085,014,583 円